

RED RIBBON LIVE NAGOYA

ラジオ媒体社からのエイズ予防啓発への取り組み



株式会社エフエム愛知
編成制作部 石田 寿弥

はじめに

H I V感染者は、当初の注目度に比較して、徐々に話題にのぼることが少なくなってきましたが、依然としてその数は増加の一途を辿っており、感染に気付かずエイズを突然発症してしまう方の増加も問題になっています。これに対する施策としては、やはり、正しい知識の啓発と、差別や偏見の解消、そして検査を受けることへの理解を広げることが肝要であると言われています。

今回ご紹介するイベント「RED R I B B O N L I V E」は、「言葉のチカラ」を知るラジオ・パーソナリティ「山本シュウ」が中心となり厚生労働省主催により、東京・その他のエリアで開催されてきていましたが、名古屋においては2010年秋に初めて、山本シュウからの呼びかけに応じた同じくラジオ・パーソナリティの「武山宗憲」が、弊社エフエム愛知、そしてエイズ支援団体「ライフ東海」と共に、主催 厚生労働省、名古屋市・愛知県・エイズ予防財団ほか後援の元、その第一回目を開催いたしました。

その後2年目以降、厚生労働省が定めるエイズ対策重点自治体・政令指定都市愛知県・名古屋市のお膝元のラジオ媒体社として、少しでも多くの方にこの問題に関心を持っていただきたいと考え、またその状況の改善の一助になるべく、そして、正しい知識に触れるきっかけになることが出来るよう、地元各団体との連携を深めて地域に根差した《持続可能な活動》として自主開催を継続して交通・商業の中心地「アスナル金山」でイベントを啓発運動を広げています。

FM AICHIが取り組む『RED LIBBON LIVE NAGOYA』

目的

12/1の世界エイズデーを前に

- ①HIV・エイズについての正しい理解を広げていく
- ②予防の大切さやHIV検査の重要性を広く伝える
- ③感染者・患者に対する差別偏見の解消を訴える
- ④若年層を中心に全世代に幅広くアプローチする

共催(2014より)
名古屋市

FM A!ch!
80.7

協賛
富士レビオ
(2012年より)

ラジオパーソナリ
ティ
山本シュウ
武山宗憲

協力 : ライフ東海
学生ボランティア

会場協力:アスナル金山
運営協力:ビバラジオ

監修協力 :
国立病院機構
名古屋医療センター
名古屋市立大学

ライブイベント
+
ディスカッション

各団体資料配布

意識調査
アンケート

後援(順不同)

厚生労働省

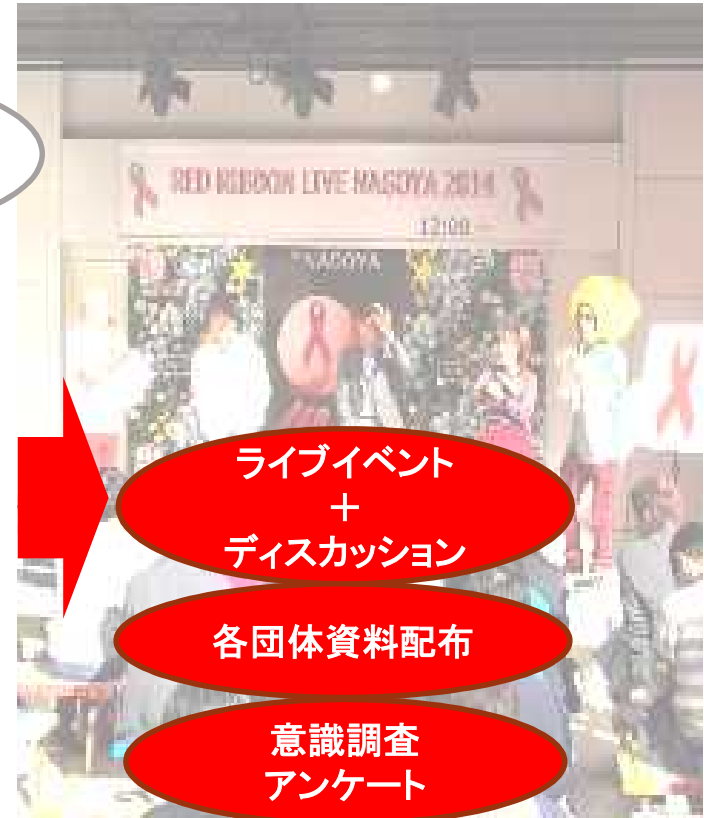
愛知県

公益財団法人エイズ予防財団(エイズ予防情報ネット)

HIV陽性者支援団体LIFE東海

ANGEL LIFE NAGOYA

特定非営利活動法人 HIVと人権・情報センター



エイズ広報を行う際の留意事項

エイズ広報を行う際の留意事項(不適切な表現等)

患者・感染者を傷つけたり、差別、偏見を助長するような表現は避ける

- ◇エイズ撲滅、エイズ抑圧、エイズ根絶
 - エイズ克服、エイズ蔓延の防止、エイズストップ、患者・感染者に対する差別と偏見の解消、という表現が望ましい。
- ◇エイズをたたきのめす、やっつける
 - 患者・感染者を排除しようとするイメージを与える。
- ◇エイズ汚染、エイズ禍、ウイルスをまき散らす
 - 患者・感染者が社会を汚しているというイメージを与える。
- ◇理性ある行動をとるべき、節度ある行動をとるべき
 - 患者・感染者はだらしない人というイメージを与える。
- ◇ハイリスクの人、エイズ多発国、エイズ先進国
 - 危険なのは、人ではなくハイリスクな行動
- ◇(発病すれば)必ず(100%)死ぬ
 - 死は誰にも等しく起きる現象であり、エイズ特有のものではない(エイズ＝死という概念そのものが間違っている。)
 - また、最近では治療方法・治療薬の向上等により慢性疾患的な意味合いも強くなってきている。
- ◇エイズの恐怖・魔の手、忍び寄るエイズ
 - いたずらに恐怖心をあおる表現は避ける。
- ◇ホモ(正確にはホモセクシュアル)
 - 蔑称として使われることが多い。男性同性愛者又はゲイであれば適切
- ◇レズ
 - ホモとセットで蔑称として使われている。正確にレズビアン又は、女性同性愛者等とする。
- ◇多数との無防備なセックス
 - 相手が多数でなければ大丈夫という誤解を与える。
- ◇コンドームを使うのは男の役割
 - コンドームはお互いの責任で使用するものであり、また、女子のコンドーム使用を阻害する可能性、女性用コンドームの使用を否定すること等につながる恐れがある。
- ◇「一般の」、「普通の」、「特別の」、「一般の社会生活」、「普通の生活」
 - セックスは日常生活の一部としてとらえることができるので、このような形容詞は誤解を与える可能性がある。セックス以外では感染しない等の補足が必要。

会場:『アスナル金山』について



〒460-0022

愛知県名古屋市中区金山一丁目17番1号

Tel 052-324-8577



●金山駅周辺図



◆駐車場・駐輪場のご案内



アスナル金山駐車場

営業時間: 24時間営業

駐車台数: 197台(身障者用4台含む)

利用可能車両: 全長5.0m×全幅2.5m×全高2.1m以内

基本料金: 230円/30分毎

(0時から6時までは230円/1時間毎)

電話番号: 052-339-1400

金山駅南駐車場

営業時間: 24時間営業

(但し、入出庫取扱時間は6:00am~1:00am)

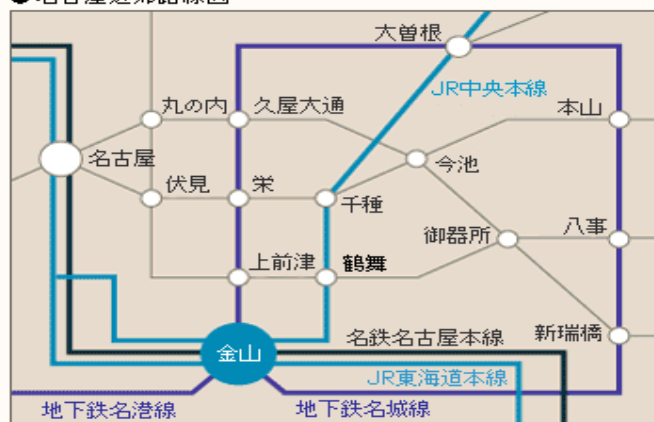
駐車台数: 347台(身障者用7台含む)

利用可能車両: 全長5.8m×全幅2.0m×全高2.1m以内

基本料金: 230円/30分毎

電話番号: 052-684-2710

●名古屋近郊路線図



◆電車・バスご利用の方へ



JR東海道本線

JR中央本線

名鉄名古屋本線

地下鉄名城線

地下鉄名港線

金山駅下車、金山総合駅北口



市バス(系統)

栄21

金山11・12・14・15・16・18・19・20・21・22・23・25・26

中巡回・昭和巡回

金山下車



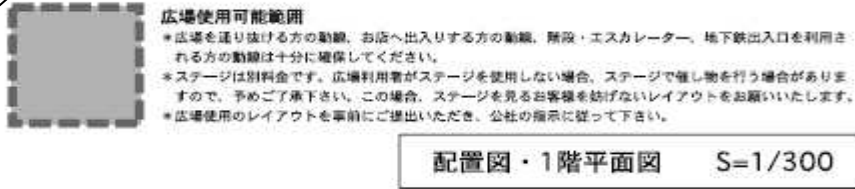
アスナル金山駐輪場(有料)

自転車: 約1700台

原動機付き自転車

(50cc以下): 約110台

電話番号: 052-331-2535



【参考】

RED RIBBON LIVE 2010 in NAGOYA開催概要

- 主 催 厚生労働省
- 企画制作 株式会社エフエム愛知
TBSラジオ&コミュニケーションズ
レッドリボンライブ実行委員会
- 協 力 愛知県、名古屋市、(財)エイズ予防財団、
HIVと人権情報センター、世界エイズデーin名古屋(WADN)実行委員会
- 開催日時(案) 2010年11月21日(日) 13:00開演 16:00閉演
- 会 場 アスナル金山 明日なる!広場
- 参加費用 フリー／無料
- M C 武山 宗憲 (FM AICHI パーソナリティ)
山本シュウ
- 特別トークゲスト 横幕 能行 (よこまく よしゆき) ※当時の肩書になります。
(独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター エイズ治療開発センター 副センター長)
- トークゲスト 荻原 桃子 (FM AICHI パーソナリティ)
道端アンジェリカ (モデル)
所 英男 (総合格闘家)
マーク・ドイル (DJ)
河村たかし (名古屋市長)
名古屋おもてなし武将隊
FM AICHI パーソナリティ (内藤 聡、川道良明、鈴木理恵、土井真友美)
- ライブゲスト Nobody knows+
Kingrass Hoppers
ミドリカワ書房
タイナカサチ
大石昌良 ※参加アーティストについては主旨ご理解により物販・プロモーション無。

RED RIBBON LIVE NAGOYA 2011 実施概要

- 主 催 株式会社 エフエム愛知
RED RIBBON NAGOYA実行委員会
- 後援（順不同） 厚生労働省
公益財団法人エイズ予防財団
愛知県
名古屋市
HIV陽性者支援団体 LIFE東海、世界エイズデーin名古屋(WADN)実行委員会
「MSMのHIV感染対策の企画、実施、評価の体制整備に関する研究」班（研究代表者：市川誠一）
ANGEL LIFE NAGOYA、
特定非営利活動法人 HIVと人権・情報センター
- 開催日時 2011年11月23日（祝水）17：00開演 19：00閉演（※延長あり）
- M C 武山 宗憲（FM AICHI パーソナリティ）
内藤 聡（FM AICHI パーソナリティ）
- トークゲスト 名古屋市立大学 看護学部 市川 誠一 教授
肩書は当時 独立行政法人 国立病院機構 東名古屋病院 内海 眞 院長
名古屋市 健康福祉局 健康部 主幹（医務指導・新型インフルエンザ対策）稲葉 静代
東海地区 HIV 陽性者支援団体 LIFE東海 シンヤ
RED RIBBON LIVE MC 生田 サリー
- ライヴゲスト 「MASH」、「YAK.」、「Good Coming」、「近藤晃央」
- 来場者数 のべ 約1,100名
- サンプリング／アンケート
- ・各団体ご提供のパンフレットをFM AICHI小袋に封入、500セットを配りきり（イベント開始1時間前16時より配布開始、開始後17時早々にすぐ配布終了。）
 - ・アンケート用紙（別紙）を600部用意、ブースでの記入、配布ボランティアによる対面調査形式188部配布、179部回収。回収率94.7%（アンケート集計は別紙）





RED RIBBON LIVE NAGOYA 2012 開催概要

- 協賛 富士レビオ株式会社
(2012年～)
- 開催日時 2012年12月 1日(土) 開演13:00・終演15:00
- MC 武山 宗憲 (FM AICHI パーソナリティ)、ほか。
- トークゲスト (肩書きは当時)
- | | |
|--|---------------------------------------|
| (パート1) 名古屋市立大学看護学部 国際保健看護学 准教授
独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター
エイズ治療開発センター 副センター長
名古屋市 健康福祉局 健康部 主幹 | 金子 典代 先生
横幕 能行 先生
松本 光弘 先生 |
| (パート2) 東海地区HIV陽性者支援団体 LIFE東海
WADN (世界エイズデー in NAGOYA 実行委員会)
実行委員長
副実行委員長
名古屋市立大学看護学部4年生 | 真野 新也
野木村 茜
安井 功 (つとむ)
西田悠一郎 |
- ライブゲスト 「MASH」、「Good Coming」、「ビッケブランカ」
- 来場者数 のべ 約1,000名
- サンプリング／アンケート
- 各団体ご提供のパンフレットをFM AICHI小袋に封入、600セット(昨年比+100セット)を配りきり終了。
※イベント開始1時間前12時より配布開始、
13時イベント開始早々にすぐ配布終了。
 - 配布ボランティアによる対面調査形式にてアンケート調査。
112部回収。(アンケート集計は別紙)





RED RIBBON LIVE NAGOYA 2013 実施概要

- 開催日時 2013年 12月 1日(日) 開演12:00・終演14:00
- MC 武山 宗憲 (FM AICHI パーソナリティ)、山本シュウ (RED RIBBON LIVE主唱者)
- トークゲスト (肩書は当時)
- | | |
|---|------------------------------------|
| (パート1) 名古屋市立大学看護学部 国際保健看護学 准教授
独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター
エイズ治療開発センター 副看護師長
名古屋市 健康福祉局 健康部 主幹 | 金子 典代 先生

羽柴 知恵子
松本 光弘 先生 |
| (パート2) 東海地区HIV陽性者支援団体 LIFE東海
WADN (世界エイズデー in NAGOYA 実行委員会)
実行委員長 | 真野 新也

檜本知夏(かしもとともか) |

※パーソナリティ武山宗憲と山本シュウが、パート1では「医療」・「行政」、パート2では「支援」、それぞれの分野のご担当者によるパネルディスカッション。各分野の現状をお話いただくことで正しい理解を促進します。

■ライヴゲスト 「カルテット.」、「斉藤 利菜」、「ノックチャック」

■来場者数 のべ 約1,800名

■サンプリング
／アンケート

- ・各団体ご提供のパンフレットをFM AICHI小袋に封入、600セット(昨年同数)を配りきり終了。
※イベント開始12時より配布開始、イベント開始早々にすぐ配布終了。
- ・配布ボランティアによる対面調査形式にてアンケート調査。
198部回収。(昨年比86部増加／アンケート集計は別紙)





RED RIBBON LIVE NAGOYA 2014 実施概要

- 共催 名古屋市
(2014年～)
- 開催日時 2014年 11月 24日(月祝) 開演12:00・終演14:00
- MC 武山 宗憲(FM AICHI パーソナリティ)、山本シュウ(RED RIBBON LIVE主唱者)
- トークゲスト (肩書は当時)
(パート1) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
エイズ総合診療部長 横幕 能行 先生
名古屋市 健康福祉局 健康部 主幹 松本 光弘 先生
(パート2) 東海地区HIV陽性者支援団体 LIFE東海 真野 新也 様
- ライブゲスト 「斉藤 利菜」
「あきいちこ」
「ももちひろこ」
- 来場者数 のべ 約1,500名
- サンプリング／アンケート
- ・各団体ご提供のパンフレットを小袋に封入、600セット(昨年同数)を配りきり終了。
※イベント開始前11時より配布開始、イベント開催中に配布終了。
 - ・配布ボランティアによる対面調査形式にてアンケート調査。
165部回収。(昨年比33部減少／アンケート集計は別紙)





事前告知展開

※2012年開催時のものです。毎年同様の内容で〇A展開しています。

- ・ FM A I C H I 告知SPOT展開
- ・ FM A I C H I 各生ワイドでのイベント告知
- ・ FM A I C H I ホームページ、メールマガジン
- ・ その他

RED RIBBON LIVE NAGOYA 2012 開催告知スポット (40")

(使用確認後、間に合うところから ~ 11/30) AN/男女

指定音源：出演者楽曲

「RED RIBBON LIVE NAGOYA 2012」^{にせんじゅうに}、開催決定！

12月1日 土曜、午後1時から、アスナル金山！！

出演は、MASH、GOOD COMING、ピッケブランカ。

そしてボク、「クラブR」の武山宗憲がイベントを盛り上げます！

12/1の世界エイズデーに、HIV・エイズについて、正しい理解を広げていこう！

詳しくは、FM AICHI ホームページ まで。

「RED RIBBON LIVE NAGOYA 2012」^{にせんじゅうに}、

新しい価値の創造を通して 世界の医療に貢献する

富士レビオ が 応援しています。

RED RIBBON LIVE NAGOYA 2012 開催告知パブリシティ

指定生ワイド番組内

指定音源：出演者楽曲使用

ただいまお聞きの曲は、「 / 」です。

さてここでお知らせです。

今年も「RED RIBBON LIVE NAGOYA 2012」の開催が決定しました！

今年は世界エイズデーの12月1日 土曜日、

午後1時から、アスナル金山！

出演アーティストは、MASH、GOOD COMING、ピッケブランカ。

そして、「CLUB-R」パーソナリティ、武山宗憲が出演します！

12/1の世界エイズデーに、HIV・エイズについて、正しい理解を広げていこう！

詳しくは、FM AICHI ホームページ をご覧ください。

「RED RIBBON LIVE NAGOYA 2012」^{にせんじゅうに}は、

新しい価値の創造を通して 世界の医療に貢献する

「富士レビオ」が 応援しています。

世界エイズデーに向けたAICHIエリア各団体の取り組みの紹介

※2010年開催時に、下記の本エリア各団体の取り組みをご紹介、誘引をアナウンスしました。

移行、毎年同様に、RED RIBBON LIVE NAGOYA 開催時に、連動して以後の各団体の取り組みを紹介しています。

11月6日(土) 13:00-17:00

プレエイズデーイベント 大須商店街およびその周辺道路で街頭キャンペーン

実施:世界エイズデーin 名古屋(WADN) ※11月21日の即日検査も広報

11月20日(土) 13:30-16:00

プレエイズデー講演会(養護教員などの先生対象) 名古屋市青少年文化センター アートピア

実施:世界エイズデーin 名古屋(WADN)

11月21日(日) 13:00-16:00

RED RIBBON LIVE in NAGOYA 2010 金山駅前 アスナル金山 明日なる広場

厚生労働省主催 FM愛知実施 ※ライブの案内もかねて、街頭キャンペーン実施(FM AICHI)

同日 11:00-16:00

HIV特別即日検査 金山前都市センタービル

実施:エイズ予防財団、JHC中部 ※事前予約制 当日も案内し検査が受けられるようにする

11月27日(土) 12:00-17:00

世界エイズデー街頭キャンペーン 栄・セントラルパークの地下街 パークスクウェア

実施:愛知県・名古屋市 協力:ぴあこ愛知など

12月1日(水) 18:30-20:30

エイズデーイベントパレード 栄広場 三越北側を基点に周辺をパレード

実施:世界エイズデーin 名古屋(WADN)

12月3日(金) 18:00/18:30 109シネマズ名古屋 スクリーン2

FM AICHI主催 DVD「ユア・マイ・サンシャイン」試写会 名古屋医療センター 横幕先生による講演会

後援:愛知県 協力:アボットジャパン(中日アド企画)

意識調査・アンケート

※2010年開催時のものです。内容は基本変更無し。

RED RIBBON LIVE 2010 アンケート

本日は、RED RIBBON LIVEに参加していただきありがとうございました。
今後のHIV/エイズ啓発の参考とさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願いいたします。
ライブ終了後、ロビーでスタッフにお渡しください。

1 あなたご自身について、差し支えない範囲でお答えください。

☐10代 ☐20代 ☐30代 ☐40代 ☐50代 ☐60代以上

☐男性 ☐女性

☐会社員 ☐自営業 ☐主婦 ☐学生 ☐フリーター ☐その他

()

2 RED RIBBON LIVEを何でお知りになりましたか？

☐テレビ ☐ラジオ ☐雑誌 ☐インターネット ☐友人 ☐その他

()

3 RED RIBBON LIVEに参加する前のあなたのHIV/エイズの知識についてお答えください。

(1)「HIV」と「エイズ」の違いについて知っていましたか？

はい / いいえ

(2)HIVの感染経路について知っていましたか？

はい / いいえ

(3)HIV感染の予防方法について知っていましたか？

はい / いいえ

(4)HIV(エイズ)検査を受けたことがありましたか？

はい / いいえ

(5)HIV検査は保健所で無料・匿名で受けられることを知っていましたか？

はい / いいえ

4 RED RIBBON LIVEに参加してのあなたのHIV/エイズの知識の変化についてお答えください。

(1)「HIV」と「エイズ」の違いについて分かりましたか？

はい / いいえ

(2)HIVの感染経路について分かりましたか？

はい / いいえ

(3)HIV感染の予防方法について分かりましたか？

はい / いいえ

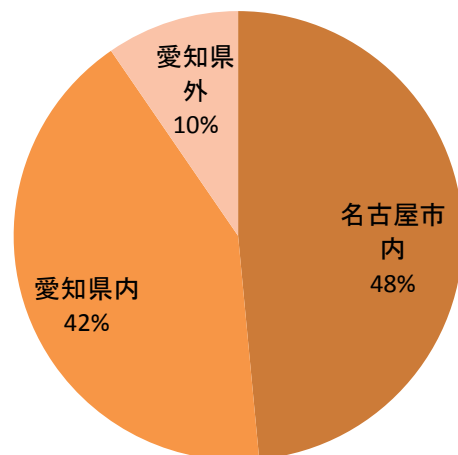
(4)HIV(エイズ)検査を受けたいと思いますか？

はい / いいえ

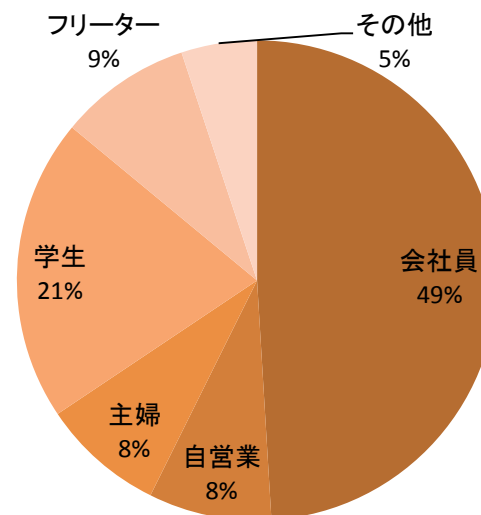
5 RED RIBBON LIVEやHIV/エイズ啓発に関してのご意見、ご感想、ご要望などがあれば、ご自由にお書きください。

アンケート結果：2011年ー①

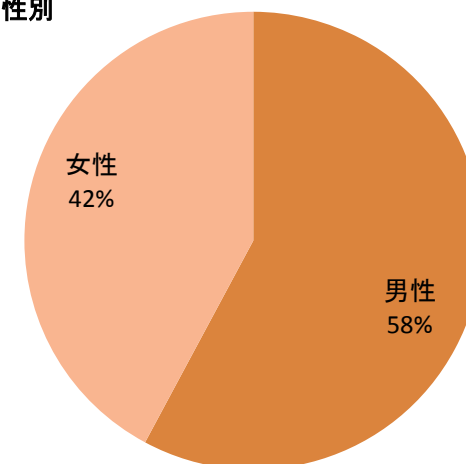
住まい



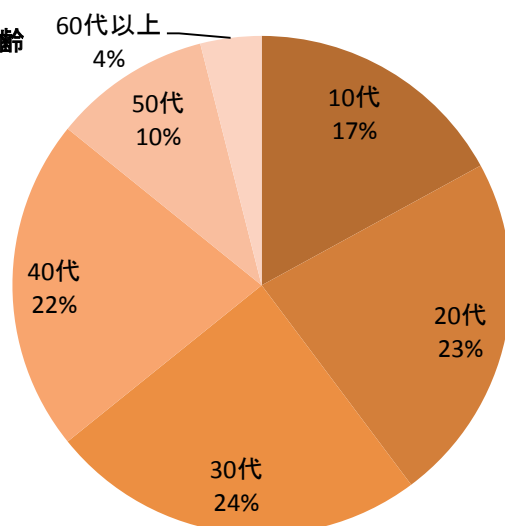
職業



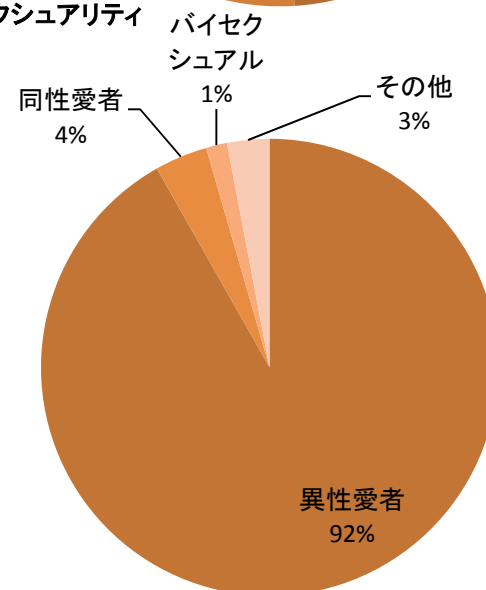
性別



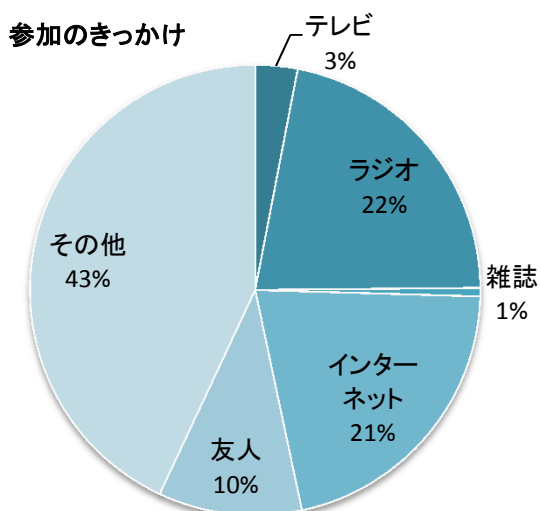
年齢



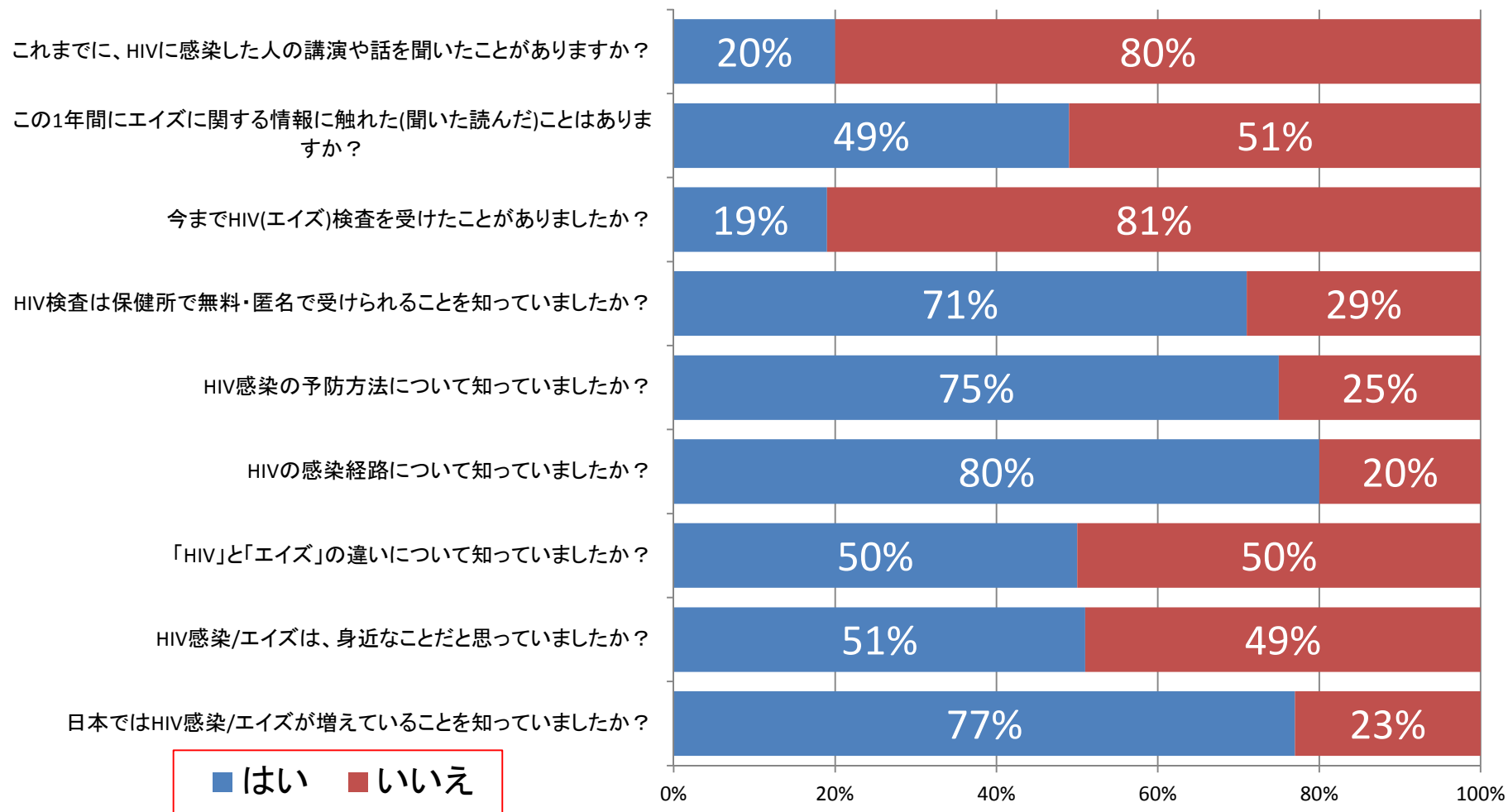
セクシュアリティ



参加のきっかけ

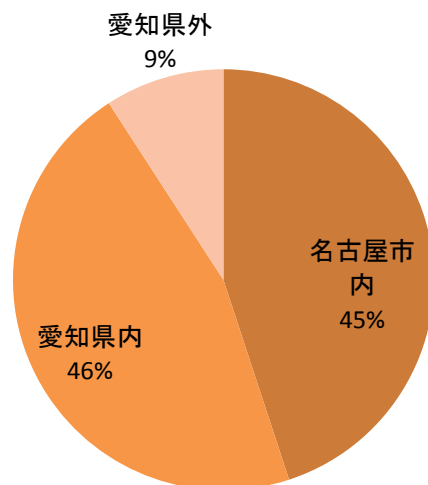


アンケート結果 : 2011年ー②

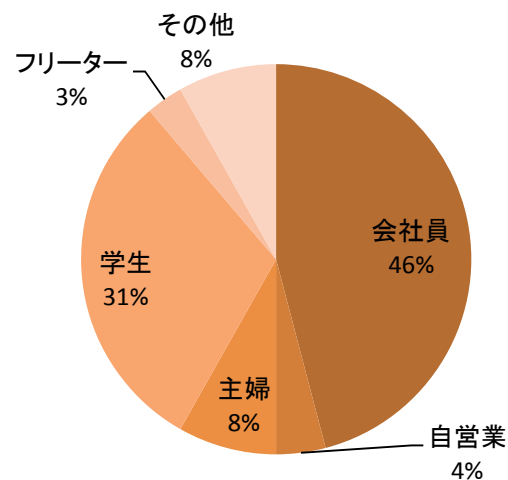


アンケート結果：2012年ー①

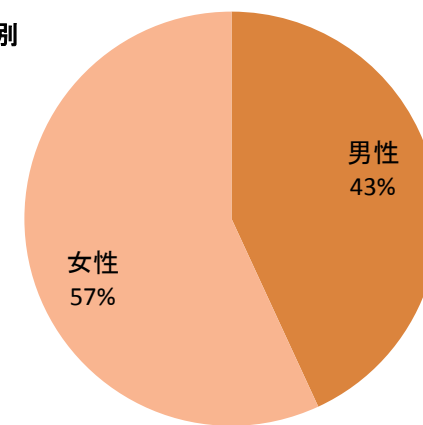
お住まい



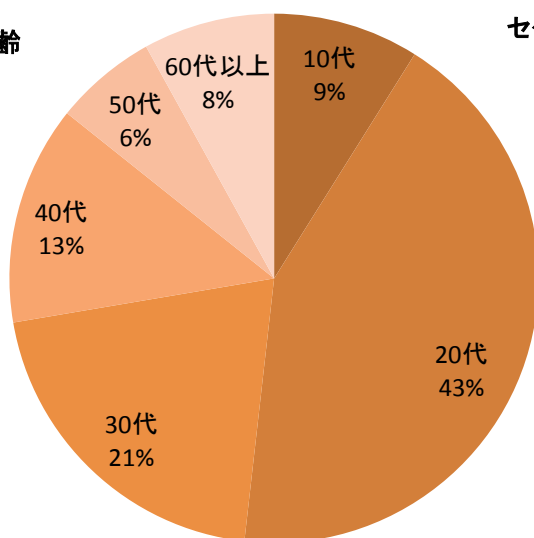
職業



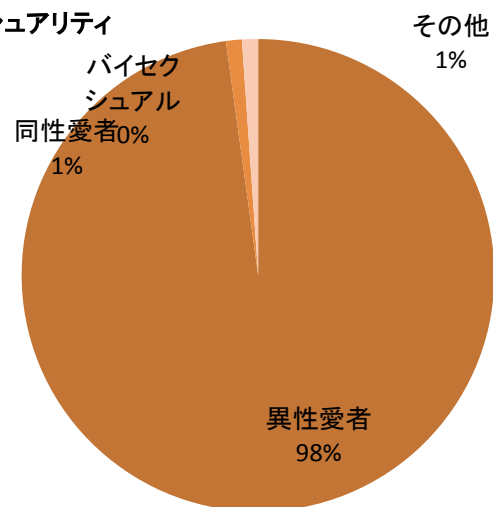
性別



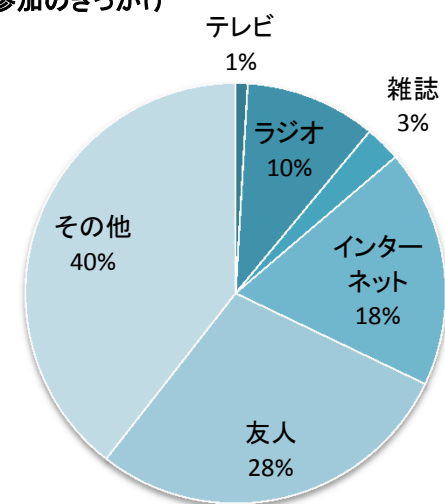
年齢



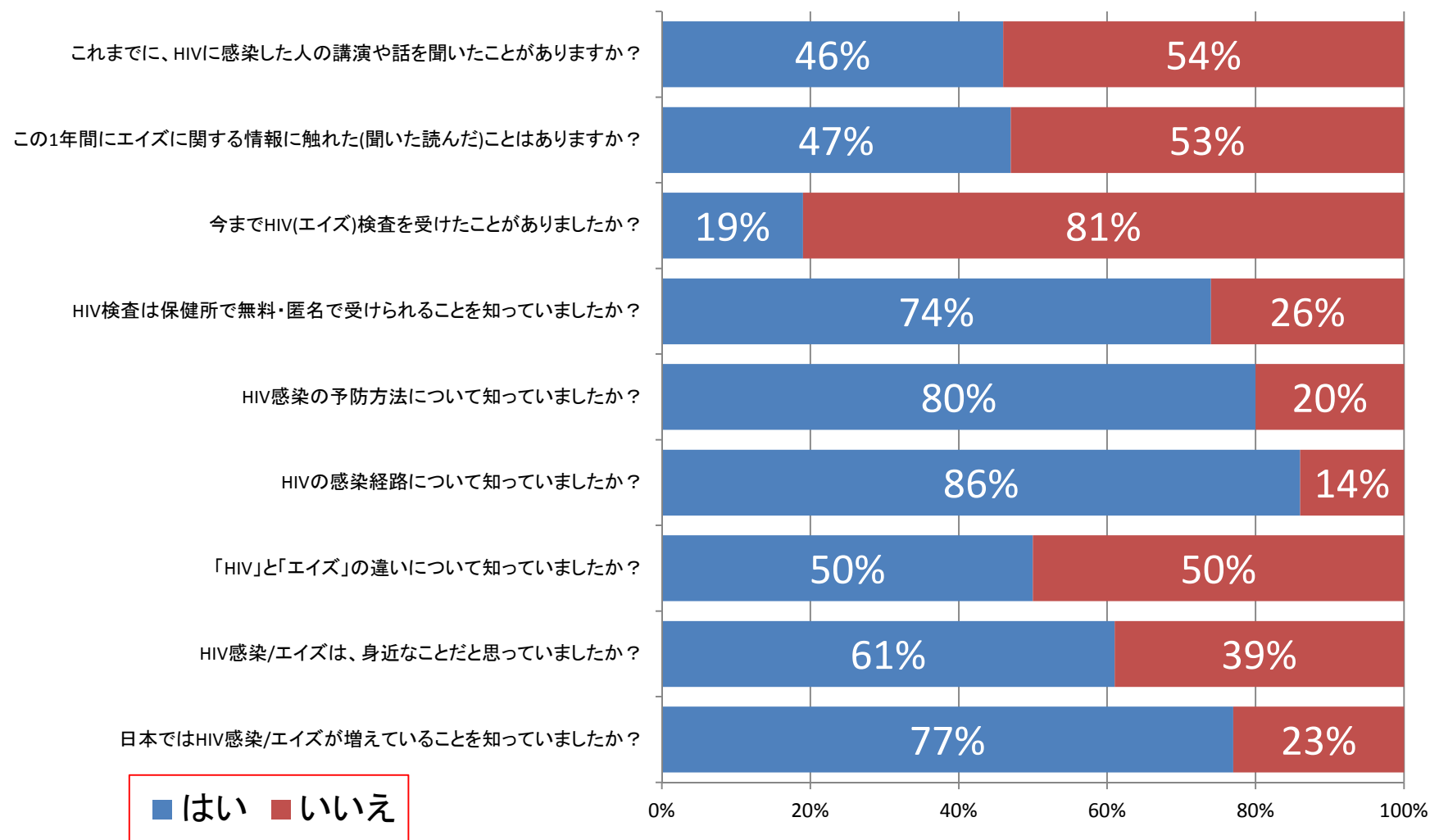
セクシュアリティ



参加のきっかけ

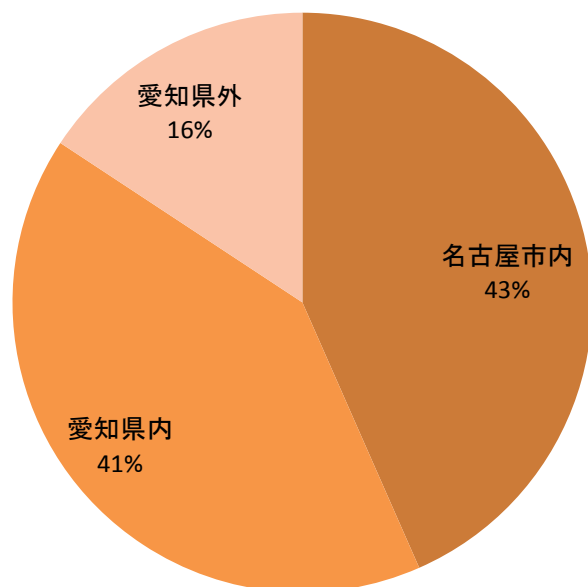


アンケート結果 : 2012年ー②

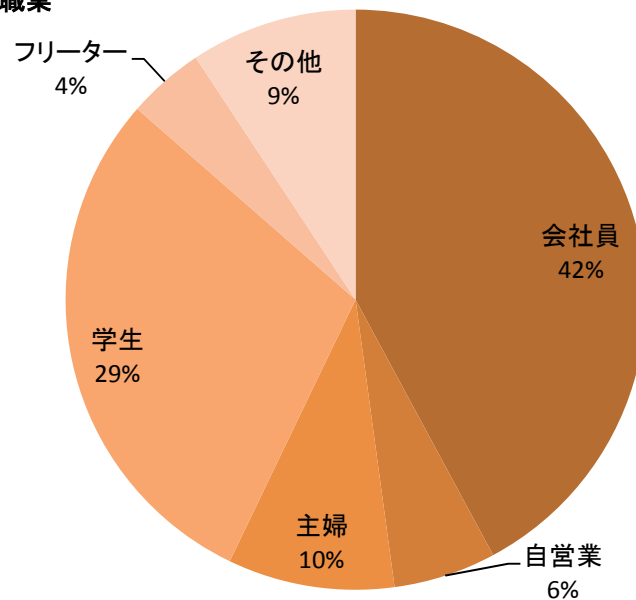


アンケート結果：2013年－①

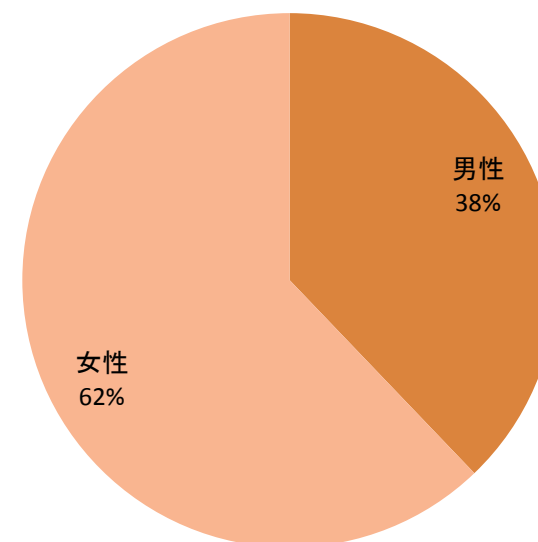
住まい



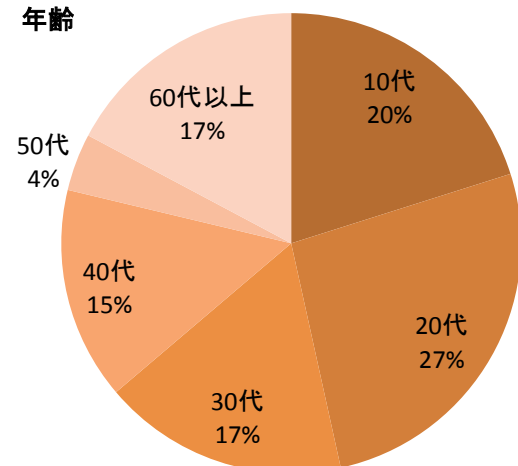
職業



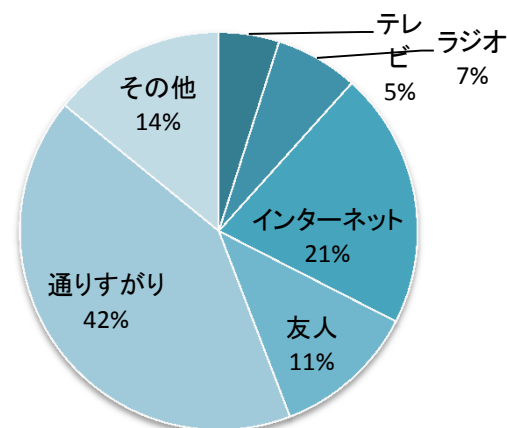
性別



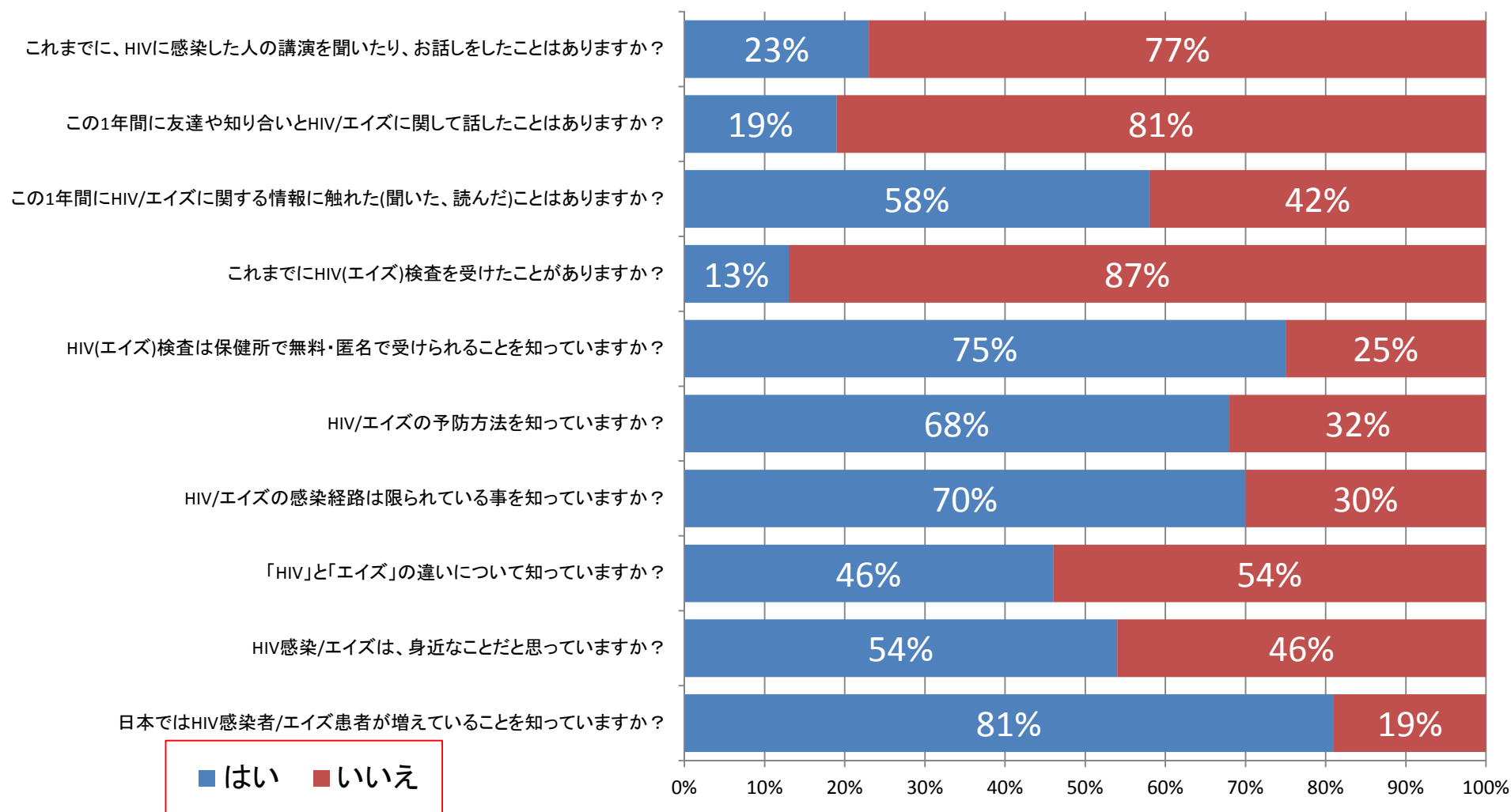
年齢



参加のきっかけ

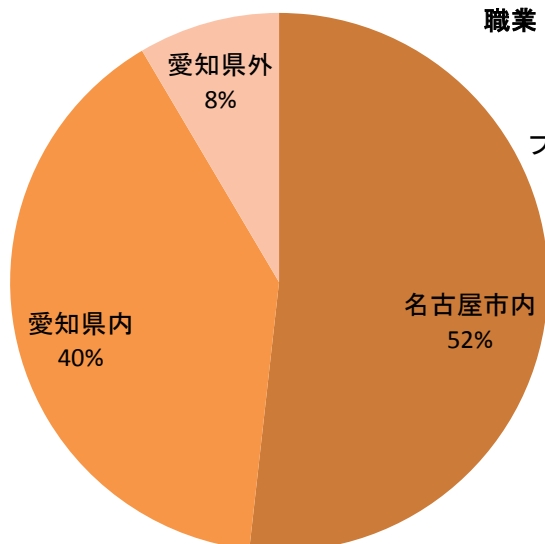


アンケート結果：2013年－②

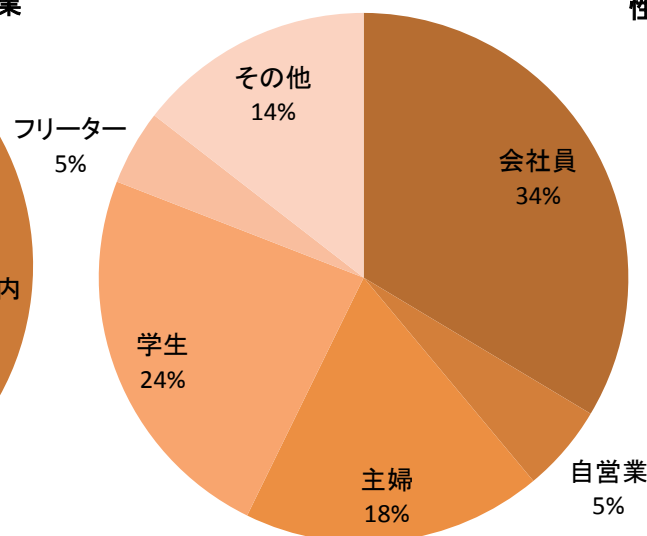


アンケート結果：2014年－①

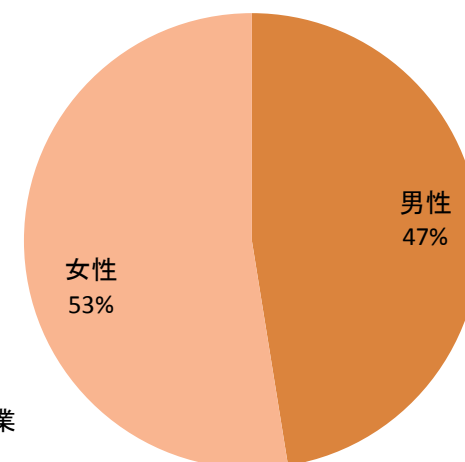
住まい



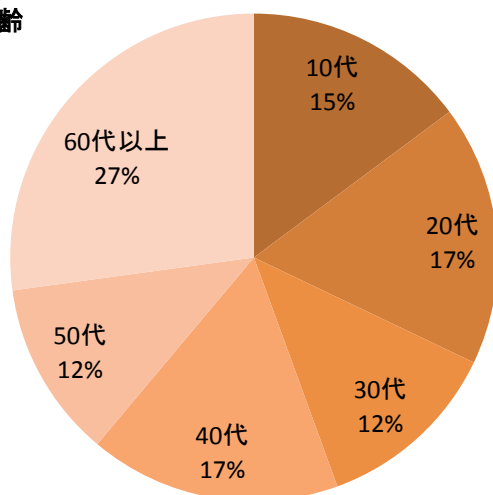
職業



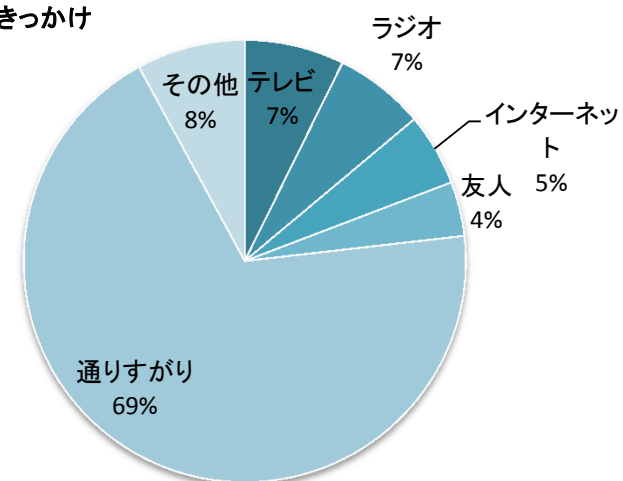
性別



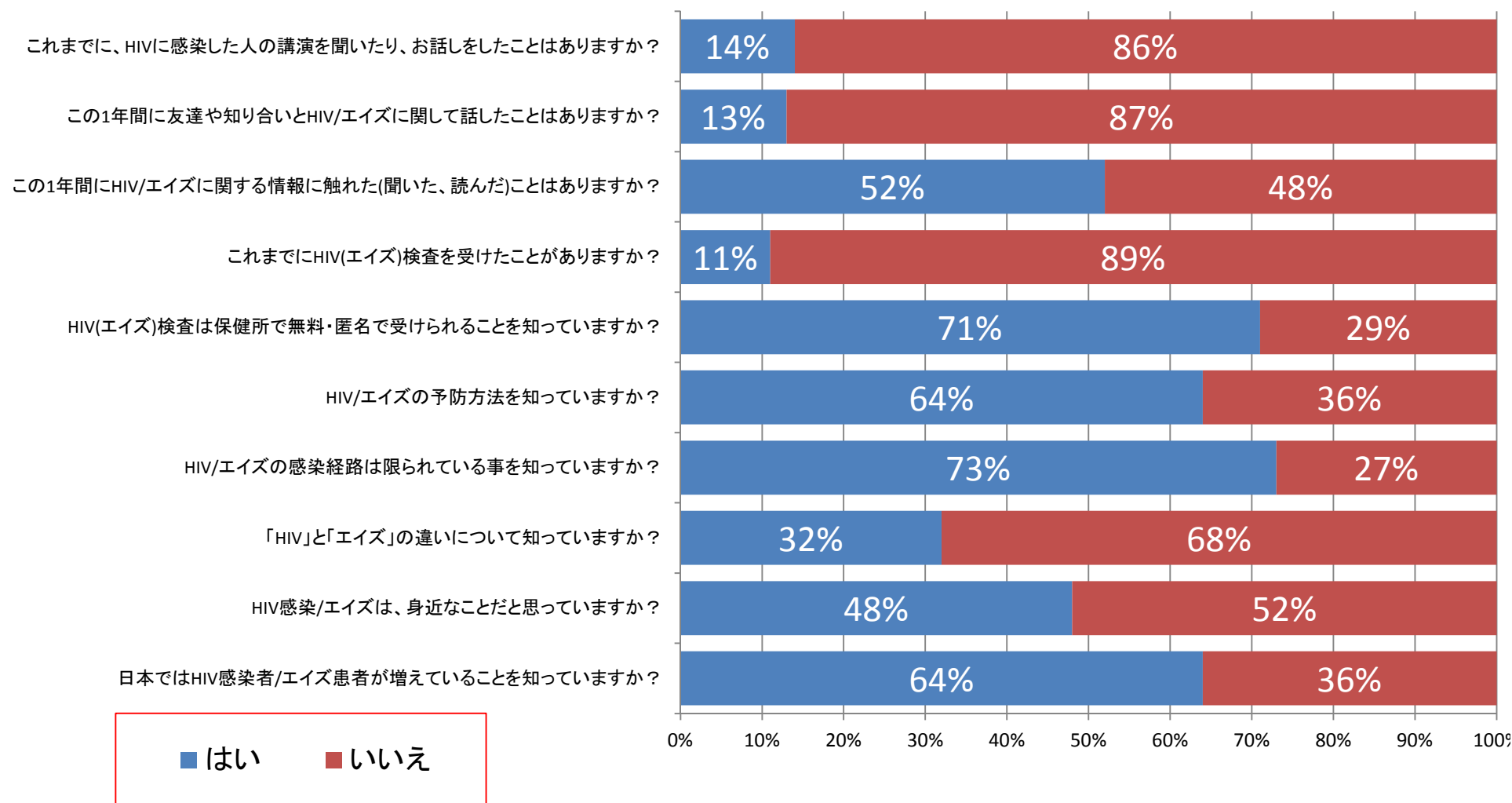
年齢



参加のきっかけ



アンケート結果：2014年－②



総括

2010年に厚生労働省主催で第一回目を開催した「RED RIBBON LIVE NAGOYA」は、昨年11月に5回目を開催致しました。自主開催としては4回目となり、共催・協賛・後援各社、会場や運営協力各社、参加アーティストやトーク・ゲスト、そして多数ボランティアの多大なご理解・ご協力のおかげで、今回も無事終えることが出来ました。

このイベントは、地域に根差した《持続可能な活動》を基本スタンスとして、毎年 実施後に伺う関係各社の意見を取り入れ、また感染者数や傾向等によってその都度少しずつ訴求ポイントを変更しながら開催しています。もちろん、まだまだ完成型までには至っておりませんが、本イベントについて過去5回の開催で、下記大切にしなければならないことが見えてきています。

- ・ 集客力の高いオープンスペースで、通りすがりで参加可能なイベント内容。
- ・ 足を止める誘引を作る、主旨を理解したアーティストの魂のこもった演奏。
- ・ 言葉のチカラを信じるラジオ・パーソナリティの参加者の心に届くトーク。
- ・ それぞれの現場で真剣に事に当たっている現場ご担当者からの真摯な声。
- ・ 嘘や疑う要素の無いしっかりした運営。

それでも参加者自身に振り返った場合、頭では正しく理解していたとしても検査を受けることへの敷居は高く感じるものであると思います。その為にはやはり、正しい知識の啓発、差別や偏見の解消、理解の拡散、という基本の部分を、繰り返し繰り返し訴えかけていくことが肝要であると思います。その上で毎年1つずつ課題をプラスして進めていくのが現実的と考えています。

最後に、アンケート回収の結果や、ボランティアがアンケート配布を行う際におうかがいする様々な性別・年齢層の参加者の方の声により、年を追うごとに少しずつ正しい知識をお持ちの方が増えてきているように感じています。

引き続き本イベントを継続していくことで、少しずつでも関心が深まるよう、アーティスト・ライブとラジオ・パーソナリティのエンタテインメント部分と、各分野ご担当者・陽性者ご本人の方からの真摯なお話しの部分をしっかり考えてバランス良く組み合わせ、興味を持った方にしっかりと信頼をいただける、ラジオならではの啓発イベントを作っていきたいと考えています。そして高い意識で持続していくことで、次世代へ繋げていきたいと思っています。